

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	赤十字国際委員会ドナー・サポート・グループ会合開催経費		担当部局	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始・終了(予定)		担当課室	緊急・人道支援課		課長 青木 豊		
会計区分	一般会計		施策名	VI-1 経済協力				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	ドナー・サポート・グループ会合は、年間1,000万スイスフラン以上を拠出する主要ドナー国がハイレベルでの意見交換を通じて、実質的にICRCの政策決定に関与できる重要な機会であり、メンバー国が持ち回りでホストしている。我が国は、本会合を初めてホストすることにより、主要ドナーとしての姿勢を示す。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	約50名(ICRCの主要ドナー19カ国から各2名(人道支援部門の局長クラスを含む)、及びICRC本部から総裁(会議1日目夕食会のみ)、事務総長、局長4名、職員数名)が参加する2日間の会議及び会議前日夜のレセプションを開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	6	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	紛争犠牲者の保護の実現 (救われた人命数)		成果実績	百万人	27.4	32.1	28.5	-
	(注)機関全体の目標及び実績		達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①DSG会合メンバー国数 ②DSG会合メンバーによる拠出総額		活動実績 (当初見込み)	①国 ②億ス イスフラン	①19 ②10.2	①19 ②9.9	①19 ②9.4	①18 ②-
	(注)機関全体の指標及び実績							() ()
単位当たり コスト	5,972千円		算出根拠	DSG会合開催費用				
平成 23 年度 単 位 予 算 内 訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事務機器借料	-	936					
	レセプション経費	-	4,655					
	音響機材等雑費	-	381					
計	0	5,972						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	経費節減に努め、業者からの提供物・サービスについては、適正価格にて調達する。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			